

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	後期高齢者医療保険普通徴収事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	今野 忠光				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	後期高齢者医療保険料納付義務者	意図	主たる財源である保険料収入を確保し、財政運営の健全性を保持する。
事業内容	後期高齢者医療保険に加入することにより、被保険者の前年度所得に応じて保険料を賦課し、これに基づき、被保険者から保険料を徴収し、円滑な財政運営を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢化社会への移行に伴い、後期高齢者医療保険の被保険者は増加傾向にあり、徐々に収納業務自体が難しくなっている。滞納処分の強化が必要である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	保険料収納率（繰越分）	50.12	44.65	45.59	%	↑↑↑	還付未済額を除いた収入済額／調定額
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 徹底して、滞納整理事務を実施し、収納率の向上を目指す。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,923,086	8,920,236	8,736,906				
事業費(b)(円)		1,783,746	1,972,085	1,927,456				
うち一般財源		1,783,746	1,972,085	1,927,456				
職員給与費(c)(円)		7,139,340	6,948,151	6,809,450				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.22	0.22	0.22				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	滞納管理システムの設置者であるDSKと連絡を密にし、システムの改修及び整備を行う。	③取組における課題(Check)	事務及び滞納整理のより一層の効率化を目指し、滞納管理システムを最適化する。また、流山市税等コールセンターが新規事業として導入されたため、効率的な催告方法を模索する。
②H30に実施した取組(Do)	滞納管理システムの改修を行い、事務及び滞納整理の効率化を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	滞納繰越額を減少させるため、口座振替率の向上を図る。また、流山市税等コールセンターにおいて、積極的に文書催告も行い、保険料のより一層の収納率向上を図る。